

府省名	財務省	部署名	九州財務局
取組のポイント			
<p>「ライフ」の拡大と業務改善による「ワーク」の充実を相乗的に好循環させる「ワークライフシナジー」を掲げ、局内全体で①働き方改革、②業務改善運動、③女性活躍推進活動の3分野の取組を並行して行い、組織の活性化を図り、「ひとりひとりが主役」の「明るく活力ある職員」づくりに邁進している。</p>			
取組概要			
<p>【取組の背景】 これまでのワークライフバランス(以下「WLB」)推進の取組で一定の成果を得た一方で、地域連携貢献活動が一層求められている。そこで、業務改善・効率化及び職員のモチベーション向上のため、一段高い次元でWLBを実現する必要がある。</p>			
<p>【取組の内容】</p> <p>① 働き方改革: 超勤縮減・年次休暇・フレックスタイム活用促進・職場環境改善等 ・WLBの必要性や目指すべきゴールなどについて、トップのオリジナルメッセージを発信(「ワークライフシナジー運動」の打ち出し) ・トップによるWLB研修会、課長補佐以下とトップによるWLB懇談会の実施 等</p> <p>② 業務改善運動: 小さな「気づき・工夫・改善」を^{しょうよう}慫慂し、業務効率化・活性化 ・職員からの業務改善を募集する提案制度を実施。優れた取組は局長により表彰し、広報誌等で職員に紹介 ・先進局の事例を学ぶ「業務改善推進セミナー」の実施 等</p> <p>③ 女性活躍推進活動: 組織を超えた交流で刺激を受けることによる意識改革 ・「女性職員の活躍とWLB推進に係る意見交換会」におけるワークショップ実施 ・「九財・女性活躍推進フォーラム」での地域金融機関の女性職員との交流 等</p>			
<p>【取組の成果】 新給与システムの集計票稼働、Web会議積極的活用等といった業務効率化の結果、30年7～9月の超過勤務時間が昨年比0.6時間減少。地域連携基本方針の策定・公表、地域拡充フォーラムの充実、「まちづくりワークショップ」など、地域連携貢献活動にもリソースを割くことが可能となり、職員の意識も向上した。</p>			
			
業務改善に関する提案のしおり		局長によるWLB研修会	
講評			
<p>業務効率化のために、「ライフ」を考慮しながら自身の働き方を見直し、また、職場のトップを巻き込み組織的に取り組んでおり、継続性や波及性が期待できる。</p>			